

国立病院機構 金沢医療センター



外観

「国立病院機構金沢医療センター」は、金沢市の中心街に近く、日本三名園のひとつ「兼六園」に隣接。加賀藩前田家の家臣であった奥村邸跡に建てられ、病院周囲を囲う長土堀は当時（元禄年間）のものが遺されている。

外来管理診療棟1F
トイレ入口

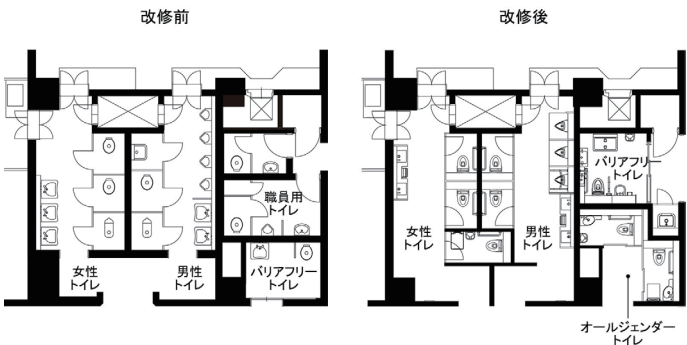
トイレは、左側に検体提出窓口がある男女別トイレ。右側に2ヶ所の個室があるオールジェンダートイレを配置。通路には、視認性が非常に高い自光式の突き出しサインが設置され、トイレ入口がわかりやすくなっている。

外来管理診療棟1F
女性トイレ 洗面コーナー

清潔感のある白を基調とした空間。洗面コーナーは、清掃性に優れたボウル一体形のツインデッキと、非接触で衛生的に手洗いができる自動水栓を採用。身だしなみを整えるためのスタイリングコーナーも用意されている。

トイレ図面

職員トイレであったスペースを、バリアフリートイレに変更し、新たにオールジェンダートイレを設置している。



水まわりの特長

改修の経緯

2023（令和5）年に創立150周年を迎えた「金沢医療センター」は、北陸地区の基幹病院として高度な専門医療や救急医療を担っている高度総合医療施設。全国140病院で構成される国立病院機構の一員であり、「生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療を目指す」を病院の理念としている。当病院は、厚生労働省が策定した「医療施設におけるインフラ長寿命計画」に基づき、建物の躯体を活かした設備更新や医療DX化などの環境整備を推進。その一環として、利用者満足度調査で課題となっていた水まわりに関する不満の改善に着手した。改修にあたっては「癒しのトイレ研究会」の協力を得て、外来エリアのトイレを先行して実施。和式便器の洋式化に加え、整形外科や内科前のトイレを全面改修した。

トイレの特長

トイレ改修のテーマは「明るくきれいに」。照明のLED化や白を基調とした内装で、明るく清潔感に溢れる空間へ刷新。そのほか、清掃性の向上、オールジェンダートイレの新設やバリアフリートイレの再配置、自光式サインやビクトグラムの導入など、利便性・多様性・視認性に配慮した環境を実現した。改修後に実施された利用者アンケートでは、99%が「改修前と比較してトイレが快適になった」と回答。また、「トイレがキレイだと病院全体のイメージアップや満足度につながると思う」については、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が100%となった。今後は、病棟などの水まわりも順次改修し、地域の要として医療ニーズに応え続けていく病院にふさわしい環境整備を進めていく方針としている。

建築概要

名称	国立病院機構 金沢医療センター
所在地	石川県金沢市下石引町1-1
施主	独立行政法人 国立病院機構 金沢医療センター
設計	ツグチ建築設計事務所
竣工年月	（改修）2026年3月
敷地面積	54,887㎡
建築面積	16,426㎡
延床面積	64,302㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階（外来管理診療棟）

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5534系
ウォシュレット アプリコットP（温風乾燥付きエコリモコン）:TCF5841PR
柵付二連紙巻器:YH701／自動洗浄小便器:UFS900JS
ツインデッキ（ボウル一体タイプ）:MKWD
クリンドライ（ハンドドライヤー）:TYC430WJ
コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK11R1A2AD*1W
ベビーシート:YKA25N／ベビーチェア:YKA15S／フィッティングボード:YKA41R
パブリック用手すり:T112CL9、T112CU22
LED照明付鏡（間接照明タイプ）:EL80014

外来管理診療棟1F
女性トイレ
大便器ブース

大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。ウォシュレットは、ボタンを押すたびに発電し、電源工事などが不要なエコリモコンを設置している。カルテなどのファイルや手荷物が置けるよう、上部に棚も設けている。

外来管理診療棟1F
男性トイレ 全体

男性トイレの洗面コーナーも、女性トイレと同様にツインデッキ（ボウル一体タイプ）を採用。衛生性に配慮し、洗面ボウルの間にクリンドライを設置することで、床への水垂れを抑えている。

外来管理診療棟1F
男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。プライバシーに配慮して仕切り壁を設置している。また、体調不良などに備えて、各小便器脇に呼出ボタンを備えている。

外来管理診療棟1F
バリアフリートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレバックを設置。お子様連れへの配慮としてベビーシートとベビーチェアも完備している。

外来管理診療棟1F
オールジェンダートイレ

オールジェンダートイレは、前室を設置。介助者が異性の場合も、前室で待機することが可能となっている。引戸で出入りがしやすい個室は、ベビーチェア付きとフィッティングボード付きの2タイプを用意している。

外来管理診療棟1F
改修前

改修前は和式便器が残っており、掃除をしても薄暗い雰囲気があるなど、利用者から不満の声が寄せられていた。